



次なるステージへ 進化しつづける市政



朝長
のりお
ともなが
則男

無所属

リーディング・プロジェクト <明日の佐世保を創り出す8つの重要項目>

- ①名切地区再整備
- ②俵ヶ浦半島開発
- ③クルーズ船入港体制の整備
- ④特定複合観光施設(IR)の立地推進
- ⑤企業立地の推進
- ⑥基地(海・陸自衛隊・米海軍)との共存・共生
- ⑦世界遺産(黒島)日本遺産(鎮守府・三川内焼) 世界で最も美しい湾クラブ(九十九島)
- ⑧英語で交わるまちSASEBO

まちづくりの目標

- 1.豊かで元気なまちづくり
 <①観光の振興 ②農業の振興 ③水産業の振興 ④商業の振興 ⑤工業の振興 ⑥伝統産業の振興 ⑦創業支援>
- 2.健康で安心して暮らせる福祉のまちづくり
- 3.心豊かな人を育むまちづくり
- 4.安全安心で快適な生活を守り、多様な交流を支えるまちづくり
- 5.あふれる魅力を創出し、定住・移住したくなるまちづくり
- 6.健全な行財政運営と元気な中枢拠点のまちづくり

これまでの経験を活かして 海に開けた美しい佐世保市を 国際観光都市に変革させます

市政が正しく行われていれば、佐世保市民は日本一豊かな市民であるはずだ、というのが私の主張です。なのに、現在の佐世保市は、人口の減少、少子高齢化、過疎化に喘いでいる。あってはならないことです。政治家はもっと真剣に経済を活性化して景気を浮揚させるべきです。

私にお任せ下さい。私が佐世保市の冷え込んだ経済を活性化させ、景気を浮揚させます。私なら、宮津町、針尾西町、万津町、相浦町、小佐々町、鹿町町、黒島町、宇久町など佐世保市の漁協所在地すべてに魚介のふ化場を設置します。

そして、大村湾、佐世保港、九十九島一帯、および平戸島と五島列島と長崎半島で囲まれた外海を性質の異なる天然の大型生け簀と考へ、それぞれの漁場に適した稚魚や稚貝を大量に放流します。どんどん放流します。

そうすれば、それらの4つの海は間違いなく放流された稚魚や稚貝の優れた天然の生育場となり、生け簀となり、豊かな漁場となります。

ふ化場が設置され、稚魚や稚貝の放流が始まれば、放流された稚魚や稚貝は、年月と共に自然に漁業資源として成長します。したがって、タイやヒラメなどの稚魚、アワビやサザエやウニなどの稚貝をどんどん放流するだけで、佐世保市の経済を無理なく活性化させ、所得を倍増させ、景気を浮揚させることができます。

捕獲した魚介を大消費地東京、名古屋、大阪、福岡、あるいは近隣の中国、韓国、台湾、東南アジアなど世界各地に大量に出荷すれば、佐世保市の沿岸漁業は世界的な海洋資源供給基地として盛んになるはずで

また稚魚や稚貝の海への直接の放流は沿岸からの釣りが可能になるので、学校や会社の休みには、例えば曳きの強いマダイの沿岸からの釣りを楽しみに、国内は勿論、世界の各地から家族連れの観光客が大勢訪れて、風光明媚で豊かな国際観光都市として大いに発展します。当然、旅行業、宿泊業、飲食業、運輸業、土産業などの観光産業にもかなりの経済効果が見込めます。

言うまでもなく、経済が活性化して景気が回復すれば、若者の就労者が増え、人口減少、少子高齢化、過疎化などの問題が解消されるだけでなく、どんどん市の税収が増え、医療・介護・福祉・育児・教育などの行政サービスを飛躍的に充実させることができます。

神戸大学大学院修了、工学博士、アメリカ機械学会・終身正会員



田中
たかはる

無所属
75歳